

海老名市立有鹿小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年10月5日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立有鹿小学校 コミュニティ・ルーム
- 3 出席委員 鍵渡正徳委員、碓井雅巳委員、越智正則委員、大久保敏委員
北川八重子委員、田中由美野委員、伊藤恵美子委員、加藤誠一委員
境景子委員、内山大輔委員

4 会議の内容

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

鍵渡会長：お忙しい中、ご参加ありがとうございます。

9月30日(土)に有鹿幼稚園の運動会を有鹿小学校で行った。どの子どもたちも頑張っていたが、特に、年長さんのマーチングは見ごたえのある演奏だった。保護者の方に、子どもたちの成長を見ていただく、よい機会となった。小学校の運動会も、もうすぐ行われるが、子どもたちの活躍を期待している。

(3) 学校長あいさつ

境校長：9月の3連休明けは、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザによる欠席者が多かったが、他校では、学年閉鎖や学級閉鎖もあったが、本校は閉鎖せずに、教育活動を行うことができた。感染状況は、今現在では、落ち着いてきている。

運動会まであと2週間となった。9月は、暑さのために練習ができない日が続いていたが、ここに来て、ようやく暑さがおさまり、本格的に練習ができるようになった。よい運動会となるよう、しっかりと準備していきたい。

(4) 議事①上半期の学校の状況、教育活動について

境校長：上半期は、各学年の遠足、5年の野外教育活動などの行事を無事に終えることができた。様々な行事を終えるごとに、子どもたちの成長を感じる。

社会科見学は、昨年度までオンラインで行っていたが、今年は実際に工場などに行けるようになっている。2年生も生活科の学習で、学区のお店などを見学することができた。今年度は子どもたちから学区にあるラーメン屋さんに行ってみたいという声があり、職員がお願いにうかがったところ、ご協力いた

だけることになった。子どもたちもとても喜んでいました。

夏のえびなっ子スクールは、学校応援団のみなさんを中心に2日間開催することができた。保護者ボランティアが思うように集まらなかったが、学校応援団の方が海西中学校に声を掛けてくださり、中学生がボランティアとして協力してくれることになった。このような形でも、中学校との連携を深めることができたことは、有意義だったと感じている。

幼保小中の連携も今年度から進めているところで、幼稚園の年長さんを招いて小学生と交流する活動を予定している。また、第1回目の幼保小連絡協議会を開催したが、園からは、トイレや給食はどのくらい自分の力でできるようになっていけばよいか、という質問が挙がっていた。園と連携を取りながら、学校がどのような準備をしていけばよいかについて検討していきたい。なお、第2回目の協議会では、中学校の先生を交えて、協議することになっている。

一人一台端末の活用については、今年度、職員の入れ替わりが多かったので心配していたが、着任した若い教職員は飲み込みが早く、問題なく進めることができています。また、デジタルドリルを取り入れる学年もあり、より積極的に一人一台端末を活用できるようになってきた。

田中委員：6年生は、社会科見学に行くことはできたか。

境校長：無事に行くことができたが、国会議事堂がとても混んでいて、ゆっくり見学をすることができなかった。

鍵渡委員：幼稚園と小学1年生の交流会については、以前も行っていて、参加した園児は「楽しかった。」と言っていた。このような取組をとおして、小学校への期待も持てるのではないか。

伊藤委員：幼保小中の連携は、有鹿幼稚園だけが参加するのか。

境校長：市内にあるすべての園に案内を出し、中学校区単位で協議会を開催している。中学校区の日程に合う園の方にご参加いただいている。

伊藤委員：今は、学区以外の園の卒園生もかなり入学している。

境校長：卒園生がいる中学校区で、協議会への参加者を割り当てている園もある。

鍵渡委員：調べ学習は、どのくらい行っているのか。

境校長：3年生以上は、タブレット端末で、インターネットにつないで調べることができる。また、低学年でも見つけたものを写真に撮って、共有することはできている。高学年になると、調べたことや自分の意見を付箋機能のあるソフトをつかって、意見交換するといったことも行うことができています。また、調べたことをタブレット端末上で新聞形式にまとめることもしている。

伊藤委員：子どもがタブレット端末で作った成果物を、保護者が見ることはできるのか。

内山教頭：データが保存されていれば、タブレット端末を持ち帰った際に、保護者が見ることはできる。タブレット端末の活用については、メリット、デメリットがあるので、教職員はそこを見極めながら、効果的に学習に取り入れていく必要が

ある。

(5) 議事②「目指す姿」実現に向けた協議

境校長：6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が出たので、現在、教職員で分析を行っている。学校ごとの結果については、今後公表することになる。

(資料をもとに結果概要の説明)

加藤委員：話し合いで意思決定する活動は、コロナもあったので、これまであまりできていなかったのではないかと。小集団で話し合う活動はとても大切。正解はなくても、どういう意見に納得できたのか、などについて、話し合えるとよい。

伊藤委員：人と違う意見を言いにくい年頃なので、いろんな意見を出すということが難しい場合もあるかもしれない。

境校長：現在、本校では、国語科で対話の研究を進めている。子どもたちの様子を見てみると、「そういう考えも分かるけど、こっちの考えも分かる。」といった相手を認める子も出てきている。子どもたちは楽しそうに話し合いをしているが、すべての子どもが積極的に発言できるわけではないので、発言しやすい雰囲気をつくるのが教師の重要な仕事になる。

北川委員：自信がつけば話せるようになることもあるので、何回も経験を積ませることが大切だと思う。

伊藤委員：苦手な子は、その子なりの伝える方法を身につけさせてあげる必要がある。

碓井委員：勉強は大人になったら、その大切さを実感できるようになる。まずは、一生懸命勉強しようとするのが大事。

境校長：鼓笛については、鼓笛応援隊のみなさんにご協力をいただいている。今年度も三川公園のせせらぎ祭りに参加する予定。

田中委員：せせらぎ祭りについては、今年度は土曜日でのみの参加とし、お祭りが日曜日に順延になった場合は中止となる。今年度は、有鹿小の校歌を演奏する。はじめは心配な部分もあったが、かなり仕上がってきている。また、先週、海老名小学校の鼓笛演奏を見学してきた。海老名小の校長先生は、5・6年生の引継ぎを大事にしているとおっしゃっていた。海老名小のよい部分を有鹿小にも取り入れていければと思っている。

(6) 議事③ 子どもに係る具体的な課題についての協議

境校長：みなさんから、課題に感じていることがあれば出していただきたい。

北川委員：海西中入口の交差点や郵便局の近くの道路で、子どもの飛び出しを見かけた。

加藤委員：車が脇道に入ってくることが増えた。事故も起きている。

鍵渡委員：広がって、歩いている子どももいる。

北川委員：歩道があるのに、車道の脇を歩いている子もいる。段差がなくて歩きやすいのかもしれないが、危ない。

加藤委員：上郷地区は、分譲住宅の増加にともない、小さい子も増えてきた。脇道に入ってくる車もあるので、注意喚起をしたほうがよい。

碓井委員：実際に歩道を歩いてみると、歩きにくいところもある。通学路として決める際には、大人も歩いてみる必要がある。

(7) 議事④ 次年度に向けて

境校長：具体目標については、次回の会議でお諮りする予定。学校予算については、特色として、鼓笛の楽器維持やICT教育を中心に要望していきたい。また、地域交流や異学年交流についても、力をいれていきたい。

(8) 議事⑤ その他

内山教頭：4年生が社会科で、「地域に受け継がれてきたもの」について、学習を行う。そこで、上郷・河原口地域に受け継がれてきたものがあればご教示いただきたい。現時点では、有鹿神社のお祭りやお囃子について、調べていきたいと考えている。

大久保委員：海老名源八のお祭りが有鹿幼稚園横のお堂で行われている。昔は、のぼりを立てていた。今月も13日に行う予定。

碓井委員：神武神社でもお祭りをしていた。あと、不動講や稲荷講というものもあった。

越智委員：自治会では子ども神輿を出している。

北川委員：お囃子は、もともと上郷で受け継がれていたが、当時の河原口自治会長さんが発起人となって、上郷から教えてもらいながら、河原口でも始めた経緯がある。

(9) 事務連絡

今後の学校運営協議会の開催について確認

令和6年2月9日（金）9:30から開催予定。

(10) 閉会